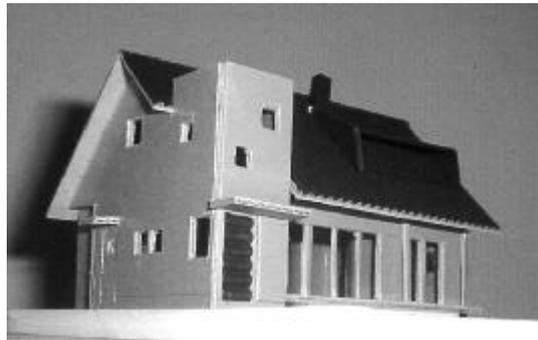


[若い人の家]づくり

植木記

このところ、若い人（20～30歳代の若者）ご夫妻が新しい戸建ての家に住んでいるが、何故？昔は、中高年家族が郊外に家を作っていたのに。最近、ハウスメーカーの企画型住宅のコストが規模や仕様などの条件付きでしょうが、1000万円程度で作れるという広告がでています。それは敷地条件や住宅の規模などによって追加費用が発生し、諸経費は含まれてはいませんので予算としては、+αの予備費を用意しておく必要があります。

若いうちは、生活が安定しないこともあり固定した住まいを確保するより賃貸住宅の方がフリーで身軽な状態です。終生ずっと賃貸で暮らすという考え方を進める専門家もいますが、自分名義の持家に住むことの安心感は大きいと思われます。

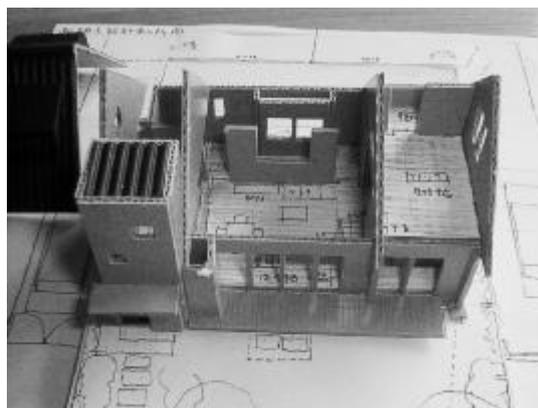


Y邸模型

「持ち家」を実行する場合、大きな選択をすることになり戸建てかマンションか等の判断と決断をし次の問題が幾つも起こってきます。体力・気力・継続性が住まい確保のポイントにもなってきます。さて土地の手当が出来希望にあふれる住まいの間取りを行う前に次のようなことを考えなければなりません。

可能であれば、家族の要望を満たした住まいが作れば望ましいですが、ないないづくしの若い時代での家作りの場合、最初から100%要望を入れた家を考えるのではなく、以前最小限住宅の記事を書きましたが、そうしたコンセプトでまずは住まいを完成させます。その後リフォームや増築をして家族生活の充実を図る方法が考えられます。

また、建築資金に関しては、税制などを利用して親の援助のもと新築や二世帯住宅そしてマンション購入というケースもあるとのこと。



Y邸・模型・屋根を取る

実例（次ページ）

A 「当初はご夫妻（後日お子さん誕生）新築」

B 「古い家をリフォーム（後日お子さん誕生）」

A 新築 スキップフロアの住まいで2階がキッチンとリビング。



東側



2階リビングの全体



南側のベランダ

敷地面積： 100.02㎡ 建築面積： 55.61㎡

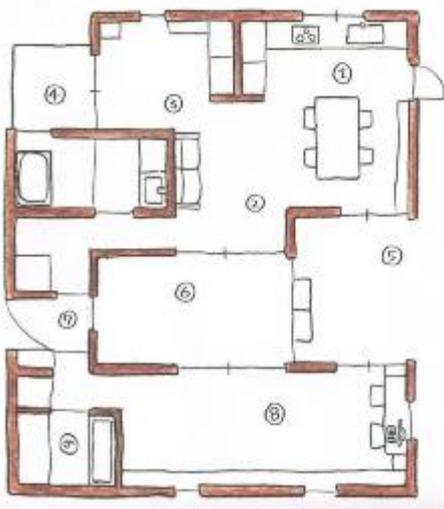
1,2階各床面積： 52,25㎡ 軸組み木造2階建て

B リフォーム (平屋の家の間取りの外形・面積を替えず)

プランはコの字型、中央にウッドデッキのパティオを設けアウトドアライフを楽しみます。そして浴室の前に二つ目の北のパティオ（ウッドデッキ）。リビング・ダイニング・キッチンもワンルームで、両引き分けの引き戸を開けると個室に繋がっています。施主は全体的にも細部においてもシンプルなデザインを好んでいました。

トイレ・洗面所・浴室はワンルーム、さらに天井は屋根勾配と平行に作り、古い丸太や新規の梁を表し天井方向にも広がっています。

外壁は黒、室内は白と木色で仕上げたカラスキームです。白黒でコントラストが強いかと思いましたがシックな仕上がりになりました。



床面積 71.0㎡



①ダイニングキッチン

キッチンセットは大工さんの手づくり



⑧仕事部屋